

着

mono 通信

yorodaya

2020・1 vol.17



原町本店
〒975-0026
南相馬市原町区栄町2-83
TEL: 0244-24-2929

郡山店
〒963-8035
郡山市希望ヶ丘12-3
TEL: 024-952-6440

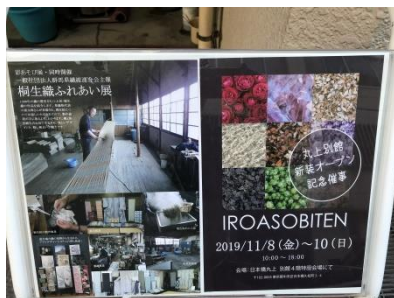
いわき店(新住所)
〒970-8026
いわき市平三倉69-8 第2地産ビル1F
TEL: 0246-85-5298

いよいよ令和2年のスタートとなりました。今年は「子年」ということで、十二支のサイクルがスタートする年でもありますね。「子」という字は、頭部の大きな幼児の形からきた象形文字だそうです。「子」は、繁殖する・産むという意味を持つ「孳(し)」という字からきており、新しい生命が種子の中に萌(きざ)し始める状態を表しているともいわれています。十二支の1番目の「子」は、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられ、ねずみはたくさんの子を産むことから、繁栄の象徴とされているそうです。

昨年の台風の被害などで、まだまだ不自由な生活を送られている方もいらっしゃると思います。一日も早く生活が回復され、新しい年がみなさまにとって幸多き一年となりますように心よりお祈り申し上げます。

～彩あそび展～

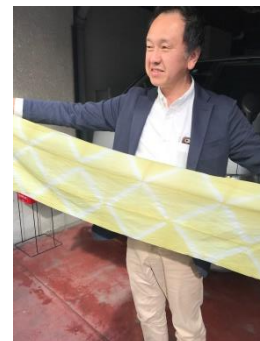
よろづ屋がお世話になっております問屋「日本橋 丸上」が別館を新装オープンしたので、記念イベント「彩あそび展」にお伺いしました。同時開催の「桐生織ふれあい展」ではステキな商品に出会うことができ、hibicolleの新作もワクワクするものばかりでした！



今回は東京の「花想容」店主で絞り作家の中野光太郎さんのご指導の元、初めての草木染体験もさせて頂きました。ひとつひとつ、細い棒のようなものを挿したあと輪ゴムで止めていくのですが、見ていると簡単なようで意外に難しかったです。



何度かやるうちに慣れてきたものの、均等な大きさにはなりませんでした。絞った帯揚げを染めた後洗ってみると、ちゃんと絞りの柄が現れました！初めてにしてはなかなかのできではないでしょうか！それにしても絞りの作業は大変！ということが改めてわかりました。
今回は中野さんの作品も沢山拝見できて楽しかったです。ちなみに私の着用の着物も中野さん作です。絞りの着物って楽しい！！



<yoroduya コーディネート～桐生織～>

新着の桐生織をご紹介します！！

桐生織は、群馬県桐生市の特産品として知られ、その歴史は平安時代まで遡るとされています。江戸時代以降は西陣や西洋の技術を導入し栄えてきました。1977年に伝統工芸品として認められ、「西の西陣、東の桐生」と言われています。

今回は、「桐生織ふれあい展」で出会った素敵な商品をご紹介します！



右の2点の反物は、単衣の季節から盛夏まで着用できる夏御召です。単衣の季節は色が濃い目の長襦袢を着用すれば透け感なく着ることができます。盛夏の季節は白の絹や麻の長襦袢で透け感を出して涼しげに…



無地に見えるグレー夏御召はよく見ると素敵な地模様が入っています。200,000円(税別・仕立て代別)



モトーンに格子柄に縞の地模様が粋な夏御召 200,000円(税別・仕立て代別)



左の2点は同じく桐生織の八寸帯です。写真左は伝統的な七宝柄に紫のグラデーションが斬新な八寸帯。写真右は、野蚕糸(やさんし)を使った無地の八寸帯です。アールヌーボー調の柄がモダンな着こなしにしてくれること間違いなしです。

七宝柄八寸帯 158,000円(税別・お仕立て代別)

野蚕糸八寸帯 180,000円(税別・お仕立て代別)

教えて！着付けのコツ

～衿が乱れる～

「半衿を合わせるときに、バストポイントを隠しましょう」

衿がつまったり、開いたりする原因は、主に長襦袢の着付けにあります。衿を合わせるとき、首元ばかり気にしがちですが、衿先まで意識することが大切です。バストトップをしっかりと超えた位置に衿がくるようにすると、衿が安定し、つまったり開いたりしにくくなります。若い方は脇の際まで衿を持ってくると美しい着姿になります。姿勢が悪いと衿が開いてくるので、姿勢に気をつけることも、着くずれを防ぐポイントです。

また、背中の中のシワやたるみは、動いていると衿が緩む原因となります。できるだけ両脇に集めましょう。両脇に集まった緩みは、腕の可動範囲を広げてくれるので多少緩んでいても良いです。

参考文献:着物の辞典 大久保信子監修

今月のおススメ商品！



“衿秀”
洗える正絹半衿

5,500円(税別)～

今回は、“衿秀”の洗える正絹半衿です。着物姿にひとさじの遊び心をプラスすること間違いなしの地紋入り半衿は、雑誌「七緒」の通販などでも人気の商品です。刺繍の半衿だとフォーマルすぎて…でも半衿でおしゃれもしたいし…という方におススメです。

しかもこちらの商品は、ウォッシュブル加工済みなので、気負わず洗えて実用性もあります。可愛い「七宝」、古典にもモダンにも見える「鱗」、ゆったりしたデザインが女性らしい「乱れ蔓(つる)」や伝統的な「松竹梅」。紬や小紋、訪問着や付け下げなどにもOKです。いつものお着物に衿元からひとさじプラスのおしゃれを楽しんでみませんか？

…若女将のつぶやき…

2020年です！「お・も・て・な・し」が流行語となり東京オリンピックが決定したのは確か2013年。あの頃はまだ7年と思っていたのですが、あっという間でしたね。さて、全国的に「2020年=東京オリンピック」になっておりますが、やはり今年一番の注目は、3月14日に常磐線が全線運行再開するというニュースです。再開後は特急『ひたち』『ときわ』で運用されているE657系特急型電車を増備の上、東京都区内～仙台市内間の直通特急を運行するそうで、東京までのアクセスが良くなるのはうれしいことです。